

コース概要

神経内科専攻コース

【プログラムの目的と特色】

神経内科における後期研修では、2年間の初期研修に引き続き、3年間レジデントとして臨床研修を行うプログラムである。神経学全般（脳卒中、免疫性神経疾患、神経変性疾患、機能的疾患、神経感染症など）における幅広い最新の知識と優れた技術を取得し、迅速な判断と適切な医療を提供でき、卓越したリーダーシップを発揮できる神経内科専門医の育成を目的とする。



【研修内容と到達目標】

後期1年次

指導医・上級医による指導をうけながら、主治医として外来・入院診療の研鑽を積む。神経内科症例検討会を通じて神経内科の考え方や知識を学び、必要な診断方法や治療方針を習得していく。また、主治医ではなくとも、カンファレンスや総回診を通じて幅広い疾患に対する理解と経験を深める。検査業務については、指導の下に適切に施行出来るようにする。救急外来では、神経内科救急に対する処置について研鑽を積む。外来では、退院後の患者の治療継続を行い、疾患の縦断像を把握出来るよう努める。指導医や上級医の指導の下、各種書類を適切に記載する。医療安全・医療倫理の講演会には積極的に出席する。

後期2年次

引き続き、指導医・上級医による指導をうけながら、主治医として外来・入院診療の研鑽を積む。神経内科症例検討会を通じて神経内科の考え方や知識を深め、診断方法や治療方針を習熟していく。カンファレンスや総回診を通じて幅広い疾患に対する理解と経験をさらに深める。基本的な疾患では適宜指導医・上級医に相談しながら一人で診療可能なレベル到達を目指す。検査業務についても基本的な内容は一人で施行出来ることを目標とする。救急外来では、神経内科救急に対する経験を深める。積極的に外来業務を行い、疾患の幅広い知識を身につけるとともに、引き続き疾患の縦断像を把握出来るよう努める。指導医や上級医の指導の下、各種書類を適切に記載する。医療安全・医療倫理の講演会には積極的に出席する。

後期3年次

主治医として外来・入院患者を受け持ちながら各種検査を行うとともに、臨床研修医の上級医としての指導も行なう。教育関連病院との連携を通じて在宅の状況を把握出来るように努め、全人的な診療の中での神経内科診療の習得を目指す。神経学会の定めるミニマムリクアイアメントを適切に達成出来るよう、指導医と相談し、不足する研修内容は関連病院、学会ハンズオンセミナー、各種学習会などを通じて習得出来るよう研鑽に励む。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	病棟	外来	外来	外来	病棟
午後	病棟	症例検討	勉強会	筋電図	病棟

コース概要

【平成22年度入院実績】

術名・検査名	件数
脳血管障害	105
神経感染症	22
神経免疫疾患	13
神経変性疾患	15
機能性疾患	5
その他	10

【指導医】

医師名	役職	医師資格 取得年	所属学会・資格等	専門領域
川原 誠	部長	平 4	日本神経学会指導医、認定内科医	神経内科全般、 末梢神経疾患
山崎 全啓	医長	平 12	日本神経学会、日本神経治療学会、日本内科学会認定医	臨床神経内科学、 神経免疫疾患、 神経感染症

【取得可能な認定医・専門医】

日本神経学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本内科学会専門医

【学会認定・施設】

日本内科学会認定医制度教育病院
日本神経学会認定准教育施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院